



逮捕 夫妻 籠池

「森友」補助金詐欺容疑

大阪地検、2度目聴取後

学校法人「森友学園」(大阪府豊中市の国有地で計画していた小学校建設に絡み、校舎建築に関する国の補助

金を不正受給した疑いが強まったとして、大阪地検特捜部は31日午後、詐欺容疑で、学園前理事長の籠池泰典容疑者(64)と妻

の有地が、8億円余り値引きされて学園に払い下げられたことが2月に発覚してから約半年。2人が、安倍昭恵首相夫人と親交があったことから、国会でも連日のように取り上げられた一連の森友問題は重大局面を迎えた。



大阪地検に向かうため自宅を出る籠池泰典容疑者と妻の諄子容疑者—31日午後、大阪府豊中市(前川純一郎撮影)

の間、国や自治体の補助金受給で数々の疑惑が浮上、学園は3月に大阪府への小学校の設置認可申請を取り下げた。学園は多額の債務を抱え、4月に民事再生法の適用を申請。大阪地検特捜部は補助金の不正受給容疑で6月に学園の関係先を家宅捜索した。

捜査関係者によると、学園は小学校校舎の建設工事に絡み、金額の異なる3通の契約書を作成。国土交通省に校舎建築の補助金を申請した際、正規の工事代金は約15億円だったのに、約23億円に水増しした契約書を提出し、平成29年2月までに約5600万円(後に全額返還)を不正受給した疑いがある。

3通の契約書について籠池容疑者は当初、「3つとも正しい」などと主張。最近では「大阪府に出した(約7億円の)契約書が正しい」との認識を示していた。

特捜部はこれまで、補助金申請を担当した小学校の設計事務所や施工業者の関係者から任意で事情を聴き経緯を確認。6月19日には学園が運営する幼稚園で、大阪府の補助金を詐取したとする詐欺容疑と合わせて関係先を捜索していた。

森友学園をめぐる問題 大阪市の学校法人「森友学園」に、大阪府豊中市の国有地が格安で売却されたことが2月に発覚。開校を目指していた小学校の名誉校長に安倍昭恵首相夫人が一時就任していたことなどから、野党が追及し、国会で籠池泰典前理事長の証人喚問が行わ

